

ネットの有害情報から子どもたちを守ろう！

夏休み期間(7/13~9/30)

ALSI、家庭向けフィルタリングソフト無償提供

アルプス システム インテグレーション株式会社(本社:東京都大田区、代表取締役社長:麻地 徳男、資本金:2億50万円、以下 ALSI〔アルシー〕)は、インターネットの有害情報から子どもたちを守るため、今年も夏休み期間(2011年7月13日~9月30日まで)、お申し込みの方に無償で家庭のパソコン用フィルタリングソフトを提供いたします。この取り組みは、今年で8回目の実施となります。

■夏休みフィルタリングソフト無償提供について

夏休みになると子どもが1人で家にいる時間が増え、家庭のパソコンを利用したネット検索やゲームなど、インターネットに接する機会が増えます。インターネットは便利で楽しい反面、成人・残虐画像、詐欺、ウイルス感染など、子どもにとって有害な情報も多く存在します。今年は、有名人になりすまして個人情報盗み出す手口や、義捐金詐欺なども発生しており、これらの危険から子どもたちを守るため、家庭用のパソコンのフィルタリングが有効な予防手段となります。

今年5月18日の総務省の発表によれば、18歳未満の子どもがいる家庭で自宅パソコンによるインターネット利用は、調査対象6588世帯中の51.2%と全体の半数に及ぶ一方、「フィルタリングソフト」を利用している世帯は全体の15.4%と昨年に比べ増えはしましたが、利用していない世帯が76.7%とまだまだ普及が進んでいないことがわかります。

そこで ALSI は、今年も夏休み期間中、自宅のパソコンでインターネットを安心・安全に利用してもらうために「フィルタリングソフト」を無償で提供することにしました。この取り組みは2004年から今年で8回目となります。

お申し込みは、ALSIのフィルタリング啓発サイト(<http://intersafe.jp/personal/>)にて、2011年7月13日より受付を開始し、9月30日まで無償で提供いたします。また、初めての方にも気軽に利用してもらえるよう、インストールなどの技術サポートも受けられることとし、無償期間のみの利用でも構わないこととしました。

ALSI は、日本のフィルタリングの草分けとして「InterSafe WebFilter(インターセーフ ウェブフィルター)」を開発・販売する傍ら、財団法人インターネット協会、全国読売防犯協力会、安心ネットづくり促進協議会などの団体の社会貢献・普及啓発活動に参加し、インターネットの有害情報から子どもたちを守るフィルタリングの啓発活動を行っております。最近では情報機器の発達につれ、このような活動は地域社会・家庭・学校の中で益々重要であると考えられていることから、同じ学校より再開のご依頼をいただくこともあります。ALSI は今後も、このような活動のお役に立てるよう、支援をまいります。



▲各団体の委託を受けて ALSI も講師として各地で活動しています。写真は6月16日淑徳高等学校2年生向け情報モラル教室の様子。

この発表に際して、財団法人インターネット協会様、全国読売防犯協力会様より、以下のコメントをいただいております。

財団法人インターネット協会 主幹研究員 大久保 貴世様

<http://www.iajapan.org/>

当協会では、保護者や子ども向けに相談業務やセミナー活動、ルール&マナーテキストの販売などを行っております。フィルタリングは試してみないと実感できないこともありますので、子どもが一人で自宅のパソコンに接する機会が増える夏休みにこそ、無償でフィルタリングの利用ができることは、喜ばしいですね。



全国読売防犯協力会 会長 竹村 章様

<http://www.bouhan-nippon.jp/>

当協力会は、アルプス システム インテグレーション株式会社にも講師をお願いし、各地で「インターネット安全教室」を実施し、ウェブサイト「ぼうはん日本」を通じ活動を広げております。この度の同社のフィルタリング無償提供の取り組みは、防犯に役立つものと推薦いたします。



【このリリースに関するお問い合わせ・取材受付先】 アルプス システム インテグレーション株式会社
広報担当 桑野 宏子 E-mail:kuwano@alsi.co.jp TEL:03-5499-8043 URL:<http://www.alsi.co.jp/>